

平成27年5月 定例委員会々議録

- 1 日 時 平成27年5月29日(金) 午前9時00分～
- 2 開催場所 会議室 201
- 3 出席委員の氏名
委員長 齋藤和夫 委員長職務代理者 黒川優子
委員 山崎克弥 委員 中野信男
委員 秦久美子 教育長 上原洋一
- 4 欠席委員の氏名 なし
- 5 説明のため出席した職員
教育次長 金子彰男 主 幹 長谷川 智
学校教育課長 山田公一 子育て支援課長 宮路 豊行
社会教育課長 堀 克彦
- 6 本委員会書記
学校教育課 加藤 篤聡 他3名
- 7 傍聴人
2名
- 8 会議に付議した事件
諸報告
(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄附報告(1件)
(3) 共催・後援の教育長専決報告(7件)

協議題
(1) 新規後援申請について(5件)

議案
議案第46号 燕市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

その他

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午前9時00分～

2. 会議録署名委員の指名 秦 久美子 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について

《各課長が報告》

(2) 教育長報告

〈上原洋一教育長が報告〉

● はじめに

○ Jack & Betty 教室が5月9日に開講した。58人の児童生徒が申し込み。期間延長、英語検定回数増、イングリッシュキャンプ実施等充実した内容を予定。スピーチコンテストは6月20日開催予定。

○ 高校訪問開始（5月20日巻高校、26日新潟県央工業高校）。

● 第67回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会（厚木大会）報告

○ 平成27年5月21日（木）上記大会に参加。（厚木市文化会館）

○ 文部科学省からは、教育委員会制度、コミュニティ・スクール、小中一貫教育、学校規模適正化等の諸課題について講話があった。

○ 教育研究部会のうち「学校教育部会」の事例発表は、「長期宿泊体験活動の可能性（武蔵野市教育委員会）」、「施設一体型小中一貫学校の教育（沼津市教育委員会）」の2本。

○ 文科省担当者の講評の中で、外国語活動について、今後の教科化を視野に小中高のつなぎと分担が課題であることから改善を図ること、現職の研修にも力をいれていくことが説明された。

○ 講演は東海大学副学長、山下泰裕氏が講師であった。

● 燕教科書センター

○ 学校教職員その他教科書採択関係者等の教科書および教科の研究に資するため、教科書センターを6月19日（金）から7月3日（金）まで燕市教育センター内に開設する。教科書展示も市内図書館および弥彦総合文化会館にて実施。

● 自治体視察対応

○ 5月20日（水）岐阜県美濃加茂市議会（学力向上）

● 園・学校・施設訪問

○ 5月7日（木）市民交流センター（竣工式）、5月14日（木）小池小、分水小、分水中、5月15日（金）大関小、吉田南小、5月19日（火）燕西小、燕東小、5月22日（金）吉田小、吉田総合体育館、分水小、燕市文化会館、

旧燕庁舎、燕保育園（以上総文視察）（以上 1 園、7 小学校、1 中学校、4 施設）

○委員長（齋藤 和夫）

武蔵野市の長期宿泊体験活動はどれくらいの期間になるか。

○教育長（上原 洋一）

3 年生でも 1 泊、5・6 年生になりますと 5 泊程度の長期だったと思います。費用については全額市が持つという形であった。受け入れ先もかなり多く、複数県にまたがるという話もお聞きした。

(3) 1 件の寄附報告

《山田学校教育課長が報告》

(4) 2 件の共催申請・5 件の後援申請の教育長専決報告

《山田学校教育課長が報告》

4. 協議題

(1) 5 件の新規後援申請について

《山田学校教育課長、堀社会教育課長が説明》

<1 番 N I C 燕南 シューズ回収プロジェクト！について>

審議の結果、全員一致で承認された。

<2 番 親子ふれあい運動会について>

○委員（山崎 克弥）

人的協力についてはどういった協力になるのか。

○学校教育課長（山田 公一）

特別こちらの方にはないのかもしれませんが、会場が吉田ふれあい広場ということで、そちらの指定管理業者が共催に加わっている。会場設営に関する人的支援ということで理解をしている。また、個別に何か人的配置の必要性があれば対応があるかもしれないが、一義的には会場の設営への手助けという形になるかと考えている。

審議の結果、全員一致で承認された。

<3番 たのうら冒険キャンプについて>

○学校教育課長（山田 公一）

補足になるが、旧たのうら燕については、社会福祉協議会の所有であったものが、燕市に移管されていて、NSGグループに売却させて頂いた。その際、燕市から市民や子どもたちが利用できる形にしてほしいと話もあり、それを具体的に子ども達から使ってもらう形でのNSGグループ側からの企画である。

○委員長（齋藤 和夫）

料金設定としては高めでは。

○社会教育課長（堀 克彦）

妙高にも同様の施設があるが、相場としては同じくらいになる。

審議の結果、全員一致で承認された。

<4番 生涯学習セミナーについて>

○委員（黒川 優子）

文部科学省と新潟県教育委員会からの後援はもう取ってあるか。

○社会教育課長（堀 克彦）

現在申請中である。ただし、全国的にモラロジーの研究所があり、ホームページで確認するとかなり充実している。毎年各地で活動を実施されている。県内でも昨年度実施されているので、国の方も後援ということになるろうかと思われる。

審議の結果、全員一致で承認された。

<5番 映画「ひろしま」上映について>

○委員（中野 信男）

映画を見た後で、会のアピールのような賛同を得るような機会はあるのか。

○社会教育課長（堀 克彦）

映画鑑賞の際に、会から非核平和の話があるというのは確認が取れている。

○委員（山崎 克弥）

映画や申請団体についても問題があるとは思えないが、上映に教育委員会として行う後援が付くのは少し疑問である。

○委員（中野 信男）

映画は関心があるが、教育委員会として後援するかどうかという問題に対しては、映画が良い悪いではなくて、後援が適当かどうかという点で、9条の会がアピールされるということは政治的な要素が持ち込まれてしまう。個人の賛成・反対の問題ではなく、政治的なものをかなり持ち込んで行われるものに対する後援に対しては、教育委員会としてはどうなのかを話しておかなければならないと感じる。また、現在国会で審議されている内容に関わるものを教育委員会で後援してよいのかとも考える。

○委員（黒川 優子）

映画自体は後援しても良いと考えるが、他の委員さんも発言されていたように、鑑賞後にこういう話があると考えたと別の問題と考える。戦争・原爆の悲惨さを訴える映画だと思うが、その後の講演まで含めてしまうと疑問が残る。

○委員（秦 久美子）

他の委員さんと同じように、戦争・原爆を知らない世代に知ってもらう良い映画だと思うが、映画の後に話があることを考えると、あまり良くないように考える。以前にも巻の原発の映画で賛否両論あったが、その際と同じような感じなのだと考える。

○委員（黒川 優子）

この会を主催された方々にとって講演は切り離せないことだと思うが、それは見た人が自分で考えて選択する問題であって、見ることは良いことだが、その後に追加で説明することについては必要なく、ご自身の感想に任せるべきかと思う。

○委員長（齋藤 和夫）

委員のご意見もあるようですので、決議を取らせて頂く。

審議の結果、全員一致で後援が否決された。

○委員（中野 信男）

この「ひろしま」という映画を否定しているわけではなく、会場である文化会館を使って啓発してもらうことはすごく良いことだと思う。但し、教育委員会の後援としてはふさわしくないということをはっきりと意思表示すべきだと思う。

○委員長（齋藤 和夫）

この映画に反対するということではなくて、教育委員会の政治的中立性の問題があるため後援を行わないという意見である。

○委員（黒川 優子）

後援をしないと文化会館を借りるお金はどうか。

○社会教育課長（堀 克彦）

使用料に跳ね返るため、高くなる。今回、文化センターの中ホールとなるので、文化会館ほど使用料は高くないが、ある程度は影響してくると思われる。

5. 議案

議案第46号 燕市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

《堀社会教育課長が説明》

審議の結果、全員一致で承認された。

6. その他

7. 閉会 午前9時40分

委員長 齋藤和夫

会議録署名委員

会議録調整者
